

別記様式第1号（第5条関係）

総合計画審議会 会議経過要旨

会 議 名	第3回木津川市総合計画審議会		
日 時	令和5年10月24日（火） 午後2時30分～午後4時30分まで	場 所	本庁舎5階 全員協議会室
出 席 者	委 員	（公募委員） <input type="checkbox"/> 笠井 隆司委員、 <input checked="" type="checkbox"/> 中村 裕彦委員、 <input checked="" type="checkbox"/> 柳澤 充子委員 （識見委員） <input checked="" type="checkbox"/> 今里 佳奈子委員、 <input checked="" type="checkbox"/> 真山 達志委員 （委員） <input checked="" type="checkbox"/> 石塚 修二委員、 <input checked="" type="checkbox"/> 河合 智明委員、 <input checked="" type="checkbox"/> 小松 信夫委員、 <input checked="" type="checkbox"/> 坂本 利正委員、 <input type="checkbox"/> 中崎 鉄也委員、 <input type="checkbox"/> 松永 弘道委員、 <input checked="" type="checkbox"/> 佐々木 重規委員、 <input checked="" type="checkbox"/> 森川 泰行委員、 <input type="checkbox"/> 森田 千晶委員、 <input checked="" type="checkbox"/> 渡邊 かおる委員	
	その他出席者	株式会社地域未来研究所 田淵氏、貞松氏	
	庶 務 （事務局）	船岡政策監、茅早マチオモイ部長、西村学研企画課長、 松下主幹、吉田課長補佐兼係長	
議 題	1. 開会 2. 議事 (1) 協議事項 第2次木津川市総合計画後期基本計画中間案 (2) その他 今後のスケジュール 3. 閉会		
会議結果要旨	1. 開会 事務局から開会を宣言した。 2. 議事 内規第5条第2項の規程により、今回の審議会の会議経過書の署名委員に柳澤委員を指名した。 (1) 審議事項 第2次木津川市総合計画後期基本計画中間案について 事務局から、後期基本計画の中間案について説明し、審議会委員の意見について担当課に確認した上で、進めていくことを確認した。 (2) その他 今後のスケジュール		

	<p>事務局から、今後のスケジュールについて説明を行った。第4回審議会は、令和6年1月の開催とし、日程が決まり次第連絡を行う。</p> <p>3. 閉会 事務局から閉会を宣言した。</p>
<p>会議経過要旨</p> <p>◎会長 ○委員 ●事務局</p>	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 議事 (1) 協議事項 第2次木津川市総合計画後期基本計画中間案 事務局より、第2次木津川市総合計画後期基本計画中間案について説明を行った。 なお、主な意見・質疑は次のとおり。</p> <p><b>【総論・基本構想について】</b></p> <p>○P14「持続に向けた政策の転換」の最後の文章は、「行政経営の効率化・最適化を図るなどして持続可能なまちづくりを進めていきます。」の方がよいのではないかと。</p> <p>●ご指摘のとおり修正する。</p> <p>○P27 の中段「人口が増加し」とあるが、人口が増えていかないため、増加という表現はおかしいのではないかと。</p> <p>●将来目標人口を8万人に据えてるため、「人口が増加し」と文言を残している。一方で、人口が増加しない状況からすると違和感があり、例えば「人口を維持し、地域に元気がある」という言葉の方でも合うように思っている。委員の皆さんのご意見を伺いたい。</p> <p>○元気なベクトルとしては人を増やして、意欲的な将来像として掲げているでも良いと考える。数字で考えると違和感があるが、まちとしては人を増やして活気を保っていくという考えはどうか。</p> <p>○目標は8万人だが、木津川市は住みよいまちだとして選ばれるという将来展望を表す意味でいいと思う。</p> <p>◎目標人口としては、8万人であり、今人口8万人ではない。ここの整合で「人口が増加し」としてもおかしくはない。将来展望という意味では人口が増加しという文言でも問題はないとは感じる。</p> <p>○どうすれば住みよいまちになるか、それに目指していけるか。加茂地域や山城地域の人口減少をどう改善していくか、という意味でも</p>

目標としては8万人で、人口増加も良いと思う。

◎現実問題として日本全体が人口減少、木津川市だけが増えるというのも難しいが、目標として努力していくという趣旨で原案のとおりで良いとまとめさせていただく。

○加茂地域の過疎指定の説明があった。P20 山城地域には「地域拠点」があるが、加茂地域にはないのはなぜか。

●同図は、第2次木津川市都市計画マスタープランという市の都市計画に特化した個別計画があり、それを引用している。同様に審議会があり、議会の議決を経て計画を策定している。今の計画は古い計画であるので、最新の計画に変更している。

○加茂地域は、人口が減ってきているため、いくつかの拠点があった方が良いと思う。都市計画マスタープランからの引用ということで理解した。他計画との整合も含めて考えていく必要がある。

◎日本は昭和40年代ぐらいから開発の中で、拠点主義という考えがあった。その時は拠点到資源を投下するというイメージであったが、今は資源を投下できない。現時点で資源があるところが拠点になるのかなと思う。色々と拠点があればいいが、現実に則しているものと思われる。総合計画が最上位とはいえ、都市計画マスタープランも考慮しない訳にはいかない。

○イオン、アルプラザ、梅美台の商業施設、山城地域は茶問屋というところにマークがある。南加茂台等にも商業施設がある。そういう意味ではどの地域にも拠点を置いて、互いに発展していくという風にしていくほうがいい。山城地域の方は大きな商業施設はないが、拠点となっている。それぞれの特長を生かし、住みやすいまちづくりを進めていくという考え方が良いのではないか。

○加茂駅周辺を都市拠点とするイメージはどこにあるか。

●都市拠点の考え方についてはP21に記載している。加茂支所、駅周辺のスーパー、医療機関があったりと、そういった場所を集積した地域と認識している。

○山城地域の棚倉に都市拠点があるのはなぜか。

●駅を拠点としたまちづくりを進めている。棚倉駅と上粕駅を比較すると棚倉駅の方が、乗降者数は1.5倍程度の差がある。地域のにぎわいも含めて都市拠点と地域拠点を分けたと思われる。

この地図については都市計画マスタープランからの引用の部分もあり今の変更が難しい部分がある。都市計画マスタープランも修正をかけていく計画であるため、加茂地域の地域拠点のあり方については、意見があったということを担当課には申し伝えさせていただ

く。

◎上位計画である総合計画審議会が出た意見として伝えておいてもらいたい。

**【基本計画について】**

○前回の分と比べると目標が数値化されている。その方が分かりやすいが、なぜこのようにされたのか、また数値の根拠はどうなっているか。

●数値については、より具体的に分かりやすくするようにとの庁内会議での指示があった。数値の設定ができていないところも、今後可能な限り整理していく。目標数値は担当課が基本的に設定している。

○P69 市内誘致企業における市民雇用者数 566人→600人について、企業誘致の推進を掲げている割には少ないと感じる。

●木津川市民の雇用は、企業の裁量となっており、行政としてどこまで介入できるかわからないが、担当課に伝えて、目標値を高められるように相談したい。

○600人とかの具体的な数値ではなく、↑（上矢印）でもいいと思う。

●前は↑であったが担当課として具体的な目標を掲げた。それが今後の人口減少にも対応していく施策の一つであると理解している。

○この成果指標の内容は何か。

●誘致した企業で市内雇用者の数の積み上げた数値である。新たな企業が誘致されればその分、増加する。既存企業でも市内雇用者が増えれば、増加する。

○この審議会で意見を出したが、こども家庭庁の話など思っている以上に反映していただいた。

P35 こどもの人権尊重の推進3つ目の文章が前期計画より、簡素化されている。前期計画では、「要保護児童対策協議会…関係機関を含む地域全体で子どもを守る支援体制を推進」と記述されている。今、子どもの虐待は20万件超えている。今の児童相談所の件数を考慮するともっと増えている。そういう中で協議会は各機関が集まって情報を共有し、それぞれが協力して進めている。思いとしては文言は消さないで欲しい。

●健康推進課が作成した文章であるが、「関係機関等と連携」という中に含めたの可能性があるが、内容を伝え調整する。

○年度別のグラフを見ると前期計画の数値と違うものがある。数値の確認をお願いしたい。

●承知した。

○P63 歴史的・文化的遺産の保全と活用の最後の部分で、当尾地域は神社仏閣や自然環境を楽しませていただいているが、道を整備してもらって弁当を広げることができるような場所を検討していただけたら、人も来るのではないか。また展望広場の設置の検討を付けてもらいたい。

さらには、加茂地域は観光振興といいながらトイレがない。JR加茂駅のトイレを借りているが、観光を積極的にPRするのであれば、加茂駅周辺の閉鎖されているトイレを1つでも良いので開けてほしいと感じる。

◎ご提案は今後の展望を考えるためには、よいアイデアであるが、計画の中で「展望・広場等」と具体的に記述すると他の政策との整合がとりにくいと考える。「観光ルートの整備」の文言の中で検討するという意味でいいのではないかと思う。

総合計画に記述のあるものは予算も優先的に付けることになり、その時に何をするかを考えていくことになる。今後の行政の予算執行の優先順位の中で検討していただきたい。

○P91 ごみの適正処理・減量化について、「循環型社会推進基金を活用し…」とあるが、ごみの減量化と再資源化と言ってしまうと何のことかわからない。今は生ごみを焼却している、今後焼却は許されなくなる。生ごみの再資源化というのを加えていただけたらと思う。

◎今の中間案で、廃プラスチックの再資源化と記述しているので、入れられなくはないかと思うが、担当課と調整をお願いします。

●承知した。

○P87M a a Sの記述については、中間案と説明補助資料と整合が取れていないが、どちらが正しいか。

●補助資料の方が間違っており「持続可能なコミュニティバスの運行」のタイトルが抜けている。中間案が正しい。

○観光の立場から色々意見を言ったが、各施策に盛り込んでもらって嬉しく思っている。今、観光客は増えている。ハイキングも多いが、ただ地域にお金が落ちないのが残念である。何か基盤を作って商業者の皆さんもその政策に乗って、何かチャレンジしてみようと思っただけよう期待している。

◎この総合計画の策定だけでは意味はなく、行政と民間事業者が一体となって観光施策の推進に取り組んでいくことになるろう。

○P71の「都市核」や「都市的サービス機構」の意味合いは何か。どこからの引用か。

	<p>●表現については前期計画も同じような言葉を書いているので、そこに引っ張られていると思われる。ご指摘のとおり分かりにくい表現と思うので具体的なイメージができるよう整理する。</p> <p>◎ご確認をいただき、必要な注釈などを付けて欲しい。一部文言の訂正や確認などもあったので、各課との調整も含めて整理し、中間案としてまとめていただくようお願いする。</p> <p>(2) その他 今後のスケジュール 会議結果要旨のとおり。</p> <p>3. 閉会 会議結果要旨のとおり。</p>
その 他 特 記 事 項	